

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

## (1) 概要

議 題	「(仮称) 峰高エリア 100」の整備内容に関する学校との面談協議
日 時	令和2年12月11日 午後6時30分～午後7時40分
場 所	峰山高校第1会議室 (本館1階)
出席者	石嶋・田崎・吉岡・堀 峰山高校橋根副校長・松下事務長・井上先生

## (2) 会議内容

・ 記念事業の内容の学校側の事情聞き取りと生徒の WS の再申し出を部長以下部会員で面談  
 <面談の主旨> 11/19 開催の記念事業部会において、家庭経営室の改修内容の協議をするが、10月の部会の際に松下事務長から改修素案が事前に挙げられたこと更には生徒との WS で利用する生徒の意見を参考にしたいなどから具体的なアイデアが出ない状況であったことから、数人の部会員で学校側の事情を聞く機会を設けることとなったもの。

11/19 の部会で田崎君から仮称エリア 100 のコンセプト資料による改修内容について、生徒との WS に向けて同窓会としての素案を示して生徒のアイデアや希望などを聞く機会とすべきと示されたことから、面談資料としています。さらに、生徒との WS の進行役に「丹後探究舎」の小林朝子氏へ依頼をしたところ了承いただいたので、事例として市総合計画の網高生徒との WS 報告書等を資料から概略説明して意見交換なる。

## (3) 意見交換内容

- 100周年の記念式典を令和4年1月12日に開催予定であり、体育館での式典後に記念事業で整備した「(仮称) 峰高エリア 100」を見学していただくためには、夏休みの工事施工が必須
- 工事の施工業者は、府施設であることを考慮して府の指定工業者がベストで市内には建設業者がおられるので、同窓会で指名決定して施工契約をしていただければよい
- 府教育委員会への寄付採納申請は、総額50万円以上の事案について寄付の承認申請を尾根がしている。
- 寄付承認の申請には、総費用額や内容等が必要となっている。
- 10月の寄付に関する素案の説明は、9月に家庭経営室の整備の方向付け原案が挙がったので、改修工事案など口頭で府教育委員会担当へ話した内容であり、詳細は今後の提案を持って事務手続きを行うこととなっている。
- 事前の口頭説明では、改修工事が建物躯体に及ぶものとか寄付物品の事後管理経費についての検討が行われる。
- 素案の改修工事では、躯体工事は行わないとし、エアコン設置・照明器具の LED 改修、既設棚や湯沸器の一部撤去、壁・天井・床・棚の美装などが考えられ、机やいすの購入設置程度が挙げられると伝えてあり、事業部会で更なる改修内容などを加えていただきマックスの事項で事前の寄付申請協議を行いたいと考えている。
- 事前の寄付申請協議でおおむね OK が取れば、募金額に応じた改修工事費用となった内容で最終的な寄付申請をしていただくこととしたほうが事務がスムーズに進むと考えている。
- 生徒との WS の中で生徒から明らかに学校施設にそぐわないものが出ることも考えられ、また生徒へゼロベースで生徒からの意見は皆無と思われるので、何らか素案や方向性など本資料のコンセプト程度のもは事前に必要。
- 現状3年生は今後卒業に向けた動きとなるので在校生が対象。WS の運営上でテーブル分かれた場合には生徒は数名程度でないと意見が出にくい経験がある。在校生の生徒会役員で十数名となれば可能かのと考える。
- 記念事業部会員もその WS に一緒に参加して話し合いたいと考えている。
- 3班程度で授業終了後に所要時間は1時間ほどを設定いただきたい。
- 1月は期末試験があるので、2月上旬の水曜日か金曜日の午後3時50分頃(3時半に授業終了)からスタートが生徒のクラブ活動を考慮して都合がいい。

- 対象の生徒さんと日程の提案をいただいたのでその準備を来月の事業部会で進めたい。
- 部会では生徒がそのスペースで昼食を食べることができるのかとあったが
- 現状、教室が原則となっているが外で食べるケースがあり生徒指導の範囲なので検討をすることになると考える
- 突き当りの教室なので生徒が入りにくい部屋ではないのか
- 自習室は常連生徒の専用席があって使いにくい感想が生徒ら挙がっているのと同じようにならないか
- 進路指導室と自習室が手前にあることから、生徒の往来は多くあるので利活用は多くあると考えられる。進路指導の面談やグループ自習などにも活用できるのではと考えている
- プロジェクター投影施設があるので、その活用の可能性、パーティションでの区切った利用なども想定できる。
- エアコン設置について、学校サイドでの設置は校舎内に未設置教室が残っていることから学校予算で設置は困難であるが、夏場の生徒利用を考えると必要なものと思っている。
- 入口の戸が見えるようで見えない工夫などがあれば生徒も覗いて利活用するのでは
- 生徒の自由度を促す机やイスやパーティションで個のスペースを作ることも必要
- 生徒が寝そべってリラックスするスペースや携帯充電用の電源設置などが挙がっている。
- 教室の真ん中に観葉植物を置く案も挙がっている。
- 生徒とのWSのコンセプトや改修素案・活用案が出やすい資料を作成ただければ有意義なWSとなるのでは。
- WSの状況で2回目が必要となればそれも有意義ではないか

※進行役の小林さんと能勢さんとのWSの開催について面談協議をして1月の部会では生徒へ事前に配布する素案資料について協議して2月上旬のWSに臨むこととしたい。

#### (4) 備考